CMH
ヘリスキー
衝撃的なパウダー体験
CMH
HELI SKIING

人生観を変えるスキー

リピーターが多いことでも知られるCMH。何千人ものお客様が１０回あるいはそれ以上CMHに参加されています。そして多くのお客様が、ツアー最終日のチェックアウト時に翌シーズンの予約をしてお帰りになられます。

なぜリピーター率が高いのでしょう？CMHの一箇所のエリアの広さは、平均約1,200平方キロ、これは日本の北アルプスを包み込む程の広さです。このエリアをCMHロッジの宿泊者40人前後で独占して滑ります。この贅沢とも言える広さにより、悪天候を避けて滑る多くの選択肢に恵まれるため、ヘリが飛べないことは意外な程稀なのです。また雪質の良いコースを選択することも可能となります。そして、どこまでも続くノートラック滑走の醍醐味を満喫していただくことができるのです。

この魅力を体験されると、一生に一度だけのつもりで参加されたお客様でも、またCMHに戻って来られるという訳です。

CMHとは ___ ヘリスキーのパイオニア

CMH (Canadian Mountain Holidays LP) のヘリスキーは、1965年にスタートしました。 登山家であったCMH創業者のハンス・グモーザーが、カナダ西部ブリティッシュ・コロンビア州の雪深い山々にヘリコプターでアクセスしてスキーを楽しむというアイディアを思いつき、それを実現したのです。

最初はバガブースエリアだけでしたが、その後エリアもロッジも増え、今や１０箇所のエリア（総面積は四国のほぼ４分の３に相当）に12箇所のロッジを運営し、ガイドの総数約130人、所有するヘリコプターは32機、この規模はヘリスキー会社として世界最大級です。

CMH創業者 ハンス・グモーザー

お気軽にお問い合わせください。

ロッジやプログラムによって、必要となる体力や滑走技術が異なります。「自身のスキーレベルで参加できるのだろうか」「体力的にグループについていけるだろうか。」など、初めてCMHに参加される方は、不安な点もおありでしょうが、お客様それぞれに最適なツアーをご提案させていただきますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

CMH創業当初のヘリの様子

また、CMHの日本代理店である弊社は、北海道ニセコでゲストハウスを運営しております。弊社のスタッフと共にニセコの新雪/深雪で足慣らしをして頂いてから、CMHに参加されてはいかがでしょうか。

世界各地から集まるスキーヤー

夕食時の様子

CMHが選ばれる理由

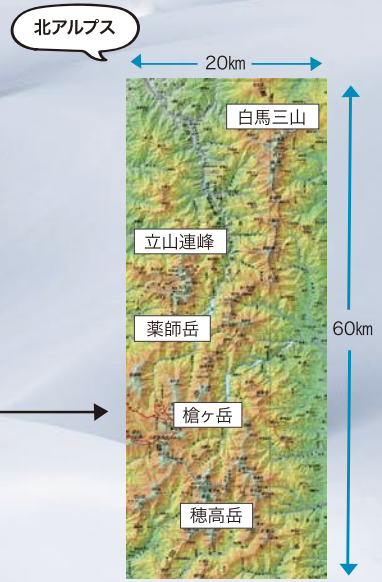
カナダ、ニュージランド、日本等でヘリスキー、キャットスキーを提供している会社はいくつかありますが、その中でも自信を持ってCMHをお勧めする明確な理由があります。

理由① 広さ

パンフレット冒頭でも述べましたが、CMHの最大の魅力はその広さ。なぜでしょうか。スキーエリアが広ければ広いほど、悪天候を避け安全で雪質の良いコースを選ぶ選択肢が増えます。そして何よりも果てしなく続くノートラック滑走を可能にします！

CMH一箇所のエリアは、平均的にこの北アルプスの面積に相当する広さです。
この広さに対して、滑走するスキーヤーは、40人前後の同じロッジの仲間だけ。
スキーヤーの夢が叶う理由は、ここにあるのです。

北米最大のスキーリゾート ウィスラー+ブラックコム	約8,000エーカー/約32,4㎢
欧州最大のスキーリゾート トロワ・ヴァレー	約26,000エーカー/約105㎢
CMH1ロッジがカバーする平均的な広さ	約300,000エーカー/約1,200㎢
CMHが保有する全体の広さ	約3,000,000エーカー/約12,140㎢



理由② 安全性

自然のままの広大な山岳地での滑走は、当然のことながら危険を伴います。ですからガイドの役割は重大です。CMHでは、経験豊富なガイドが安全なコースにご案内します。CMHのガイドは、カナダ山岳ガイド協会（ACMG）またはインターナショナル山岳ガイド協会（IFMGA）の有資格者です。その資格を取るには8年かかります。また、彼等は全員、雪崩管理、気象分析および緊急応急処置の訓練も受けています。

しかし、安全なスキーの主役は皆様です。ツアーの最初に、雪崩ビーコンの使い方とヘリコプター利用に関する研修を受けて頂きます。皆様全員にショベルとプローブの入った小さなバックパックを背負って頂くほか、雪崩ビーコンとトランシーバーを身に着けて、万が一の場合に備えて頂きます。（全てCMHが用意します）

また、CMHでは包括的な雪と雪崩対策のシステムを開発してきました。これらには雪や気象情報の収集の手順をはじめ、積雪の安定性の判断、コースの危険度の判定、その日のスキー・プログラムの決定が含まれています。各エリアにはスキーガイドとは別に雪を専門にチェックするガイドが選任され、毎朝専門のガイドが実際に、お客様をお連れする予定のコース・エリアまで飛び、雪崩の危険性がないか実際に雪を掘り、断面を目視で確認してから最終判断を下します。

これからもCMHでは、お客様と、ガイドの安全を守るため、できる限りの努力を尽くし、惜しみなくリソースを活用し、とことん安全性を追求してまいります。

理由③ 雪質

CMHの雪質の良さは、そのスキーエリアの所在地に関係しています。北太平洋から、たっぷりと水分を含んだ湿った空気が流れ込み、まず西海岸に近いコースト・マウンテンにぶつかります。最初に、この湿った空気が山にぶつかる為、ウィスラーがその積雪量で有名なように、雪はたくさん降りますが、水分を含んだ重い雪質でパウダーを楽しむには向いていません。

一方、その東に位置するバンフのエリアは、軽いパウダー質の雪を楽しむことができますが、ロッキー山脈にぶつかる頃には、空気中の水分が少なくなっているため、ウィスラーやレベルストークのあるエリアと比べると降雪量が少ないと言えるでしょう。

CMHのヘリスキーエリアは、その丁度間に位置するため、降雪量の多いことで有名なウィスラーと、雪質の良さで定評のあるバンフの良いところを組み合わせたエリアとなっています。CMHの10箇所のスキーエリアは、全てこの様な好条件に恵まれていますので、皆様に最高のパウダー・スキーを提供することが可能となるのです。

また、その変化に富む地形から、雪をたっぷり蓄えているチャレンジングな林間スキーから、開けた氷河でのスピード感溢れる氷河スキーまで、様々なタイプのスキーをお楽しみいただくことができるのです。

理由④ 滑走標高差保証

CMHでは、滑走距離を標高差で管理し、お客様がツアー中に滑走される標高差を保証する制度を設けています。ツアーの日数とコースに応じて定められた保証標高差までの滑走が、ツアー代金に含まれています。例えば、シグネチャーの７日間コースの場合、標高差30,500メーターの滑走がツアー代金に含まれています。

例えば、ヘリコプター機材の故障や悪天候等の理由によりヘリの運航が制限され、お客様が滑走された標高差の合計が、保証標高差に達しなかった場合は、その未達の標高差に対して払い戻しがされます。但し、お客様の個人的な理由で保証標高差に達しなかった場合は、払い戻しとはなりません。（お客様が疲労や怪我などの理由で滑走されなかった為に保証標高差に達しなかった場合など）

逆に、お客様が滑走された標高差の合計が保証標高差を超過した場合には、その超過した標高差に対して、追加料金をお支払い頂きます。

ご自分の滑走記録をチェックしながら、一日の途中でロッジに戻ったりすることで超過標高差を調整することも可能です。これまでCMHに参加された方の多くは、保証標高差を超えてヘリスキーを楽しんでおられます。

快適なロッジライフ

CMHが保有するロッジのほとんどは、人里離れた山奥に位置していますが、ロッジ内の設備や食事、そこで提供されるサービスは街中のホテルと比べても遜色ありません。また、各部屋やロッジから見渡す景色は、飽きることのない素晴らしい絶景です。

CMHはヘリスキーだけではなく、居心地の良いロッジで、世界各国から来られたお客様同士でスキー談義を交わしながらお過ごしいただく時間を大切に考えております。母国語は違えど、スキーという共通の話題を通し、お帰りになる頃には、ロッジで知り合った他のゲストと大の仲良しになっていたという事も少なくありません。ぜひ、CMHのロッジにご滞在頂き、一生の想い出に残る時間をお過ごしください。

ユニークな12のエリアとロッジ

		割合	滑走エリア/標高	ポイント
初めての参加にお勧め クラシックなロッジ	バガブース	60% ツリー 40%オープン	1,017㎢/ 206コース 943m - 3,050m	森林限界を挟んで、バラエティに富んだ斜面と氷河スキーを楽しむことができます。CMHが最初に建てたロッジで、部屋からの景色は格別。
	カリブース	60% ツリー 40%オープン	1,489㎢/ 382コース 1,100m - 3,000m	多雪地帯のノーストンプソン川流域にあり、シーズンの終わりに向けても最高のコンディションでヘリスキーをお楽しみいただけます。
	レベルストーク	60% ツリー 40%オープン	1,597㎢/ 310コース 900m - 3,000m	3箇所のヘリパッドをホテル周辺に有しており、悪天候時でも、良い斜面へアクセスすることができます。冬季CMHが貸し切るリージェントホテルにご宿泊頂きます。
体力・ヘリスキーの経験が共にあるスキーヤ向け	アダマンツ	40% ツリー 60% オープン	1,073㎢/ 199コース 900m - 3,100m	エキサイティングな林間スキーと、広大な氷河のオープンスロープをお楽しみいただけます。 このロッジでは4人1組でお滑りいただきます。
	ゴシックス	60% ツリー 40%オープン	1,923㎢/ 171コース 1,000m - 2,800m	CMHのなかでも広大なエリアを誇るゴシックスでは、最高の林間スキーや素晴らしい眺望のアルパインスキー、オープンな氷河スキーまで豊富な選択肢があります。
	クートニー	75% ツリー 25% オープン	1,155㎢/ 230コース 1,060m - 2,880m	二つの山脈と完璧な間隔の林間コースがどこまでも続く谷と、開けたボール状のコースが織りなすクートニーはスキーヤーのパラダイスです。
ヘリスキーの経験が豊富でアグレッシブなスキーヤー向け	ボビー・バーンズ	50% ツリー 50% オープン	1,053㎢/ 244コース 1,370m - 3,050m	林間スキーからオープンスロープ、氷河スキーまでたくさんのコースが選択できます。体力に自信があり、スピード感溢れる挑戦的な滑走を楽しみたい経験豊富なスキーヤー向けです。
	ガリーナ	80% ツリー 20% オープン	1,080㎢/ 167コース 1,000m - 3,100m	特に深いパウダースノーとバラエティ豊かな林間コースで人気があります。大きな3つの渓谷がロッジ近くで合流しているため、ほとんどどんな天候でもヘリスキーをお楽しみ頂けます。
	モナシーズ	85% ツリー 15% オープン	1,721㎢/ 275コース 580m - 3,140m	間隔の広い成熟した大木の森は、「林間スキーのパラダイス」と定評があります。地球上で最高の林間スキーと言われるモナシーズはその長く急な斜面でも賞賛されています。

ノマズ　ベイルモント　ビッグホーン

この3棟は、貸切専用のロッジとなっております。
気心知れたご友人たちと、プライベートにヘリスキーをお楽しみ頂けます。詳細につきましてはお問い合わせください。

選べる多彩なコース

CMHでは創業してから現在まで、皆様にCMHでのスキーを満喫していただけるよう、それぞれのニーズに合わせるため様々なコースをご用意しております。ご自身の滑走技術やスピード、滑走スタイルに合わせて、ご希望に近いコースをお選びください。

ロッジによっても、催行しているコースが異なりますので、参加するコースを迷われたら、まずはお気軽にご相談ください。

シグネチャ — signature

CMHヘリスキーのスタンダードコースとも言えるのがシグネチャーです。通常11人1組でガイドが1名付いて滑走します。普段から、山スキーやオフピステを多く滑られる方は、こちらのプログラムをお勧めします。

パウダー・イントロ — powder intro

体力のある中上級者が対象で、10人1組でガイドが2名付きます。新雪の滑り方を学ぶレッスンが含まれていますので、ゲレンデでの滑走技術は有っても新雪の滑りに不慣れで、初めてCMHに参加するのに不安な方にお勧めのコースです。シグネチャーより滑走保証標高差は少なくなります。

ファミリー・ウィーク — family week

お子様連れのファミリーのために設けられたコースです。ご両親と子供たちは同じグループで一緒にスキーを楽しみます。子供たちは疲れてきたらロッジに戻り、ご両親はそのままスキーを続けられます。12〜17才の子供料金は大人料金の半額で、滑走保証標高差も大人の半分となります。

パウダー・マスター — powder master

最大10人のグループに対してガイドが2名付くコースです。グループの先頭を滑るガイドに加え、最後を滑るガイドが付きますので、転倒などの場合でもグループから取り残される心配が有りません。滑走量よりも質を求めて、ゆとりの有るペースで滑ります。シグネチャーより滑走保証標高差は少なくなります。

スモール・グループ — Small group

4〜5人のグループで滑るコースです。少人数のグループ編成にすることにより、グループ毎の足並みが揃い、効率よく滑走出来ますので、滑走量も増えますし、グループによってはチャレンジングな滑走にも挑みます。体力と新雪・深雪の滑走技術に自信が有る方にお勧めです。

山スキー・ツアー — ski touring

通常自分の足では辿りつくことが難しい場所に朝ヘリで移動し、一日バックカントリースキーを楽しんだ後、またヘリでロッジに戻ります。このコースの多くは12月と4月に催行されます。

フュージョン — ski fusion

このコースはヘリスキー（4日間）と山スキー（3日間）の両方を楽しめます。10人のゲストにガイドが2人付き、その日の天候や斜面の状況によって、山スキーにするか、ヘリスキーにするかをガイドが決めます。

フリーライド — SSPD

別名スティープショット&ピロードロップとも呼ばれるコースです。その名の通り、急斜面やアクロバティックな技を発揮できるチェレンジングなコースでの滑走を楽しんでいただけます。アグレッシブなスキーヤーにお勧めです。

CMHツアーの日程

CMHのツアーはロッジのご宿泊が4泊～7泊まで様々ですが、ここでは一例として、CMHバガブースロッジ7泊プランにご参加いただいた場合の日程をご紹介します。ブルーの部分（2月8日から14日まで）が、CMHツアーの日程です。日本から参加する場合、日本出発から帰国まで、プラス4日間が必要です。

バガブースに行く場合、カルガリー空港からCMH専用バスでロッジの近くまで移動、そこからヘリに乗り換えてロッジに行きます。レベルストークやクートニーなど、ヘリを使わずにバスやレンタカーのみで行けるロッジも有ります。

ロッジによっては、ケローナ空港を利用する場合もありますので、まずは弊社までお問い合わせください。

バガブースロッジ 7泊コースの日程例

2月7日	日本出発、エアカナダでバンクーバー経由カルガリーへ カルガリー空港ホテル泊
2月8日	朝4:15バス出発、8:45ヘリパッド着、ヘリでロッジへ 昼食後　雪崩捜索訓練、その後ヘリスキー
2月14日	ヘリスキー最終日
2月15日	朝チェックアウト、ヘリでロッジ出発、10:15バス出発、 14:30カルガリー空港ホテル着
2月16日	カルガリー空港発、バンクーバー経由で日本へ
2月17日	日本着

費用について

CMHヘリスキーのツアー代金に、含まれている費用と含まれていない費用は以下の通りです。

CMHのツアー料金に含まれる費用

・ヘリスキー及び道具代（ブーツはご持参ください）
・ロッジ宿泊代、滞在中の食事代
・アクセス空港とロッジ間のバス代（クートニーは別料金）

ツアー料金には含まれていない費用

・日本/カナダ 往復航空運賃
・CMHツアー前後のホテル宿泊費
・特別手配の交通費
・規定の滑走標高差を超えた分の追加料金
・アルコール類（コーヒー・ソフトドリンクは無料）
・マッサージ料金、ロッジのショップでの買い物
・チップ

ロッジへの移動日前夜と、ロッジから空港への移動日は、フライトスケジュールの関係上、空港付近のホテルで宿泊する必要があります。このホテル代と、日本からの往復航空運賃はCMHツアー代金に含まれておりませんが、弊社にて追加手配させていただくことも可能です。

レベルストークとクートニーのロッジ（ホテル）は、ヘリコプターを使わずにアクセスができますので、CMHの専用シャトルバスの代わりに、レンタカーをご利用いただくこともできます。

予約からご出発までの流れ

STEP 1 予約

① 参加するロッジとコースを最終決定後、電話もしくはメールにて正式なお申し込み。
生年月日や身長、体重など予約に必要な情報を参加者様全員分お知らせください。

② 弊社より予約確定のご連絡をさせて頂き、本予約が完了となります。

<注意>
この時点で正式な予約となり、これ以降は最低でもお申込金相当額のキャンセル料が発生致します。

STEP 2 申込金支払い eWaiver

① お申込金のお支払い（CMHの税別ツアー料金の20%）

② 「申込書兼権利放棄合意書（WAIVER）」にネット上で記入(eWaiver)、電子署名。

<注意>この合意書にご記入、ご署名がない場合はご参加いただけません。

STEP 3 航空便 現地ホテル予約

① 日本からカナダ/カルガリーまたはケローナまでのフライト手配

② カルガリーまたはケローナでのホテル手配

<注意>
CMHツアー前後各1泊（合計2泊）の宿泊が必要です。
弊社でこれらの手配をさせていただくことも可能です。弊社では通常エア・カナダ便を手配します。
航空運賃は予約する時期や空席状況により、燃油サーチャージは発券する時期により変動します。

STEP 4 残金支払い

①　CMHツアー代残金のお支払い。（弊社から請求書をお送り致します。）
＊ツアー開始日の84日前まで

②　フライトの予約手配を弊社に申し込まれた場合は、それらの料金のお支払い。

STEP 5 最終案内

①　最終案内、ご旅行日程表、eチケットなどを弊社から送付

<注意>
弊社にフライトを依頼されない場合は、旅行業法の規定により、旅行日程表や旅行条件書は発行されません。

STEP 6 ご出発！

出発当日は、お客様ご自身で空港にて搭乗、出国手続きをしてください。
（添乗員は同行しません。）

CMH Japan / 株式会社ユーロ

〒140-0001　東京都品川区北品川1-1-16 第二小池ビル5階A

TEL: 03-6712-0040　FAX: 03-6712-0042

email: heli-ski@cmhjapan.co.jp

HP: http://www.cmhjapan.co.jp/